

野辺地マコガレイ種苗作出試験

(要 約)

高橋進吾

目 的

野辺地産のマコガレイ親魚から種苗の作出試験を行い、種苗放流による陸奥湾系群の資源造成を図る。

材料と方法

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

野辺地地先で漁獲された雌 5 尾、雄 7 尾の計 12 尾のマコガレイ親魚から、平成 24 年 12 月 29 日に人工採卵を行い、そのふ化仔魚を用いて仔稚魚の成長と生残を調査した。

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚を用いて、当研究所の陸上水槽（10 t 円形水槽 1 面、30 t 円形水槽 2 面）を用いて平成 25 年 3 月 21 日から中間育成を行い、平成 25 年 4～5 月に野辺地地先に放流した。

結果と考察

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

ふ化仔魚 15.0 万尾（ふ化率 98%）を用いて種苗生産試験を行った結果、平均全長 23.8 mm、2.7 万尾（生残率 18.0%）の稚魚を生産した（表 1）。

表1 マコガレイ種苗生産結果

ふ化仔魚の収容			取り上げ稚魚			生残率 (%)	
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	年月日	飼育 期間	平均全長 (mm)		尾数 (万尾)
H25.1.9	4.0	15.0	H25.3.21	71 日	23.8	2.7	18.0

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚 2.7 万尾を用いて、平成 25 年 3 月 21 日から飼育試験を開始した。陸上水槽を用いて 20～69 日間の飼育を行い、平成 25 年 4～5 月に 1.8 万尾（平均全長 27.2～49.0 mm）を野辺地地先に放流した（表 2）。

表2 マコガレイ中間育成(陸上水槽)結果

開 始			終了(放流)				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	年月日	飼育 期間	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	
H25.3.21	23.8	10,000	H25.4.10	20 日	27.2	8,000	80.0
H25.3.21	23.8	12,000	H25.5.29	69 日	49.0	7,000	58.3
H25.3.21	23.8	5,000	H25.5.29	69 日	30.6	3,000	60.0
合 計		27,000	合 計		18,000	66.7	

発表誌：野辺地マコガレイ種苗作出試験報告書。(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所.平成 25 年 4 月